

国近整技調第20号

平成30年 6月15日

(一社) 日本補償コンサルタント協会 近畿支部長 殿

近畿地方整備局 企画部長



平成30年度近畿地方整備局研究発表会の聴講について (案内)

平成30年度近畿地方整備局研究発表会の開催については、平成30年2月7日付け国近整技調第76号で通知しているところですが、下記のとおり開催内容の詳細が決まりましたので、聴講について関係職員に周知されるよう通知します。併せて、当研究発表会の意義をご理解いただき、貴所属職員の皆様が積極的に参加していただけますようご配慮をお願いします。

記

1. 開催日時：平成30年6月28日(木) 9:30～17:10
平成30年6月29日(金) 9:30～16:10
※両日とも9:00から受付開始(開場)
2. 開催場所：大阪合同庁舎第1号館 第1別館、近畿地方整備局 新館
大阪府中央区大手前1-5-44
TEL 06-6942-1141 (代表)
3. 聴講要領：近畿地方整備局インターネットホームページをご覧ください。
(URL <http://www.kkr.mlit.go.jp/plan/happyou/index.html>)
4. プログラム等：【別紙1】参照
5. 問い合わせ先：企画部技術調査課 課長補佐 雲丹亀
教習係長 高谷

TEL06-6942-1141

6. その他：①受付は聴講者受付票【別紙2】、又は名刺の提出により行います。受付票は会場にも用意しておりますが、2階受付会場が非常に狭く、混雑が予想されますので、事前に受付票に御記入のうえ受付していただきますようお願いいたします。(ホームページからダウンロード可)
- ②発表会当日の論文集(印刷物)の配布は行いません。
論文の内容は、ホームページ『近畿地方整備局研究発表会』『聴講案内・発表論文』に掲載を予定していますので、各自ご覧のうえ持参下さい。
- ③発表会参加の事前申し込みの必要はありません。
- ④聴講料は無料です。どなたでも参加していただけますので、是非ご参加下さい。
- ⑤本研究発表会は、(一社)全国土木施工管理技士会連合会に継続学習プログラム(CPDS)の承認を得ております。
1日目のユニット数は「4 unit」、2日目のユニット数は「3 unit」です。両日とも 9:00～10:00 時の間に受け付けをし、1日目は全発表終了時(17:10 予定)、2日目は特別講演終了時(14:30 予定)以降に証明書を発行致します。
- (注) 受講証明書配布時に本人確認が必要になるため、CPDS技術者証を必ずお持ち下さい。

平成30年度 近畿地方整備局研究発表会プログラム

[開催日] 平成30年6月28日(木)～29日(金)
 [開催場所] 大阪合同庁舎第1号館 第1別館・近畿地方整備局 新館

【全体プログラム】

月 日	時間割	区 分	備 考
6月28日(木)	9:30～9:50	開 会 あ い さ つ	大会議室
	10:00～12:00	各 部 門 論 文 発 表	各発表会場
	12:00～13:00	《 昼 食 ・ 休 憩 》	
	13:00～15:00	各 部 門 論 文 発 表	各発表会場
	15:00～15:10	《 休 憩 》	
	15:10～17:10	各 部 門 論 文 発 表	各発表会場
	15:10～16:50 (予定)	職員の描く近畿のゆめプロジェクト発表会	大会議室
6月29日(金)	9:30～10:30	各 部 門 論 文 発 表	各発表会場
	10:30～10:40	《 休 憩 》	
	10:40～11:40	各 部 門 論 文 発 表	各発表会場
	11:40～13:10	《 昼 食 ・ 休 憩 》	
	13:10～14:30	特別講演 「AIの建設分野における可能性 ～AIの現状認識と将来展望～」 古田 均	大会議室
	14:30～14:40	《 休 憩 》	
	14:40～15:00	審 査 結 果 発 表	大会議室
	15:00～15:30	講 評	
	15:30～16:00	表 彰	
16:00～16:10	閉 会 あ い さ つ		

【発表会場】

部 門 名	発表論文数	発 表 会 場		
一 般 部 門 (安 全 ・ 安 心) I	23課題	発表会場4	別館3階	302共用会議室
一 般 部 門 (安 全 ・ 安 心) II	24課題	発表会場2	別館2階	202共用会議室
一 般 部 門 (活 力)	22課題	発表会場3	別館2階	203共用会議室
イ ノ ベ ー シ ョ ン 部 門 I	21課題	発表会場5	別館3階	303共用会議室
イ ノ ベ ー シ ョ ン 部 門 II	23課題	発表会場6	別館3階	304共用会議室
ア カ ウ ン タ ビ リ テ ィ ・ 行 政 サ ー ビ ス 部 門	24課題	発表会場7	新館3階	A会議室
技 術 展 示		展示会場	別館3階	305共用会議室

特別講演

日時：6月29日(金) 13:10～14:30

場所：第1別館2階 大会議室

『AIの建設分野における可能性 ～AIの現状認識と将来展望～』

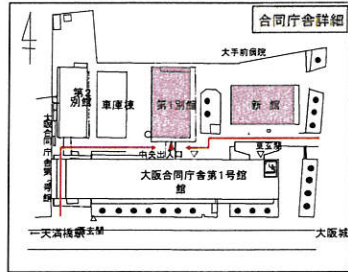
関西大学 教授 古田 均

現在、「人工知能」や「AI」という言葉が毎日のように聞かれます。AIが将来の社会を変え、「SFに出てくるような世界が実現する」、「仕事がなくなってしまう」などいろいろな言われています。一方、建設業界は人口減少、少子高齢化による担い手不足の状況下、生産性の向上による働き方改革は喫緊の課題となっています。AIとは何か、本当に役に立つのか、さらに建設分野での応用の可能性と将来展望について、古田教授をお迎えしご講演いただきます。

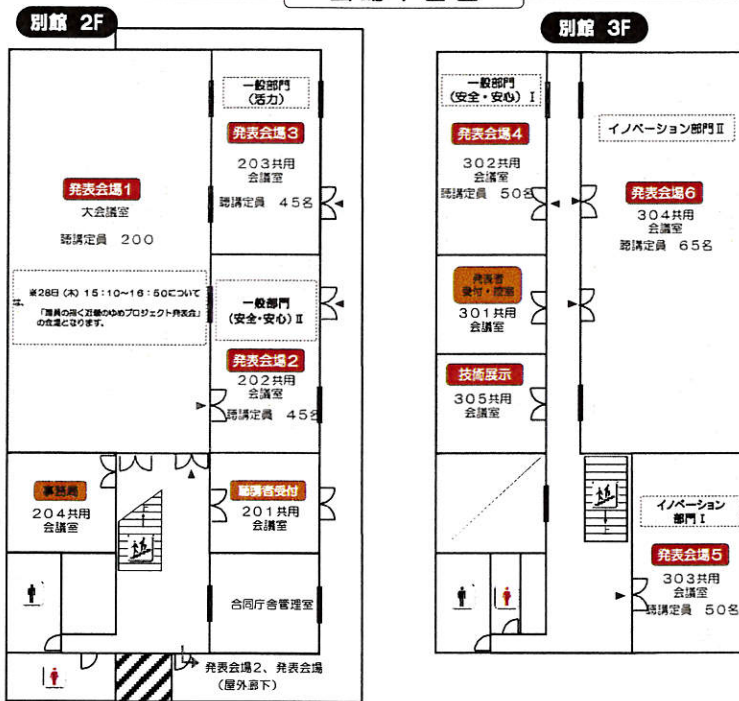


古田 均(ふるた ひとし) 工学博士 関西大学 総合情報学部 教授。
 1971年3月京都大学工学部土木工学科卒。
 1976年4月同大学工学部助手、1984年4月同大学工学部講師、1989年10月同大学工学部助教授。
 1994年4月関西大学総合情報学部教授。

位置図



会場平面図



2 F

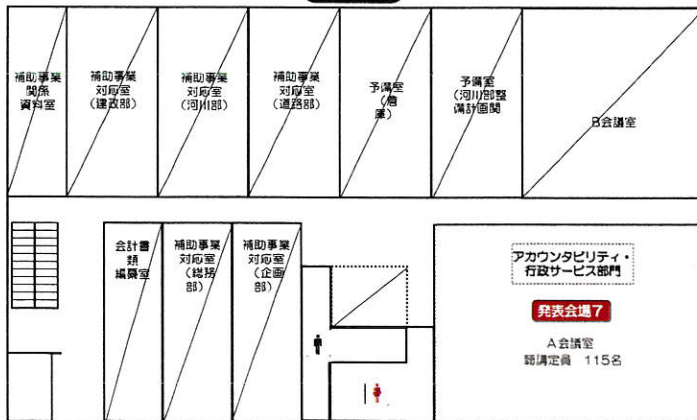
発表会場1	職員の間近畿のゆめプロジェクト発表会	大会議室
発表会場2	一般部門(安全・安心) II	202共用会議室
発表会場3	一般部門(活力)	203共用会議室

3 F

発表会場4	一般部門(安全・安心) I	302共用会議室
発表会場5	イノベーション部門 I	303共用会議室
発表会場6	イノベーション部門 II	304共用会議室
技術展示		305共用会議室

※発表会場1については、28日(木)15:10~16:50が、「職員の間近畿のゆめプロジェクト発表会」の会場となります。

新館3階



3 F

発表会場7	アカウンタビリティ・行政サービス部門	A会議室
-------	--------------------	------

一般部門（安全・安心）I

発表会場4:別館3階 302共用会議室

※1 連名の内、○付は発表予定者

No.	日:時間	論文名	論文作成者 所属	氏 名
1	10:00 ~ 10:20	技術力と経験で淀川を守る ～防災エキスパートとの合同点検～	淀川河川事務所 長岡京市	管理課 建設交通部 まちづくり政策室 ○青木 昭夫 大田 元
2	10:20 ~ 10:40	神戸港淡浜附帯施設における工事施工について	神戸港湾事務所	第一建設管理官室 竹田 裕亮
3	10:40 ~ 11:00	近畿地方整備局管内における堤防植生転換の取り組み	近畿技術事務所	品質調査課 浦西 勝博
4	11:00 ~ 11:20	安心・安全な自転車走行環境の創出に向けた取組について ～ただいま、「みえる化」進展中～	京都市 建設局	道路建設部 道路建設課 今井 貴大
5	11:20 ~ 11:40	設計図書のない既設橋梁のウイング補修設計における一考 ～名阪国道 福住跨道橋～	奈良国道事務所	管理第二課 水野 千恵
6	11:40 ~ 12:00	旧タイプアンカー部材(PC鋼棒)の破断について	福知山河川国道事務所	道路管理課 工務第一課 ○安藤 一行 井尻 和秀
12:00 ~ 13:00 昼休み				
7	13:00 ~ 13:20	老朽化したゲルバー形式橋梁の補修について	紀南河川国道事務所	道路管理課 田中 達也 ○湊川 裕介
8	13:20 ~ 13:40	国道42号藤白トンネル開削時の安全確保について	和歌山河川国道事務所	工務第二課 小沼 亮太
9	13:40 ~ 14:00	実負荷運転から得た高山ダムグレストゲートの健全度評価	独立行政法人水資源機構 木津川ダム総合管理所	高山ダム管理所 内田 颯太
10	14:00 ~ 14:20	治山事業におけるシカ食害対策について	近畿中国森林管理局 奈良森林管理事務所 近畿中国森林管理局 和歌山森林管理署	十津川治山事業所 紀伊田辺治山事業所 ○小林 正典 岡井 邦仁
11	14:20 ~ 14:40	上野遊水地における塵芥処理について	木津川上流河川事務所	管理課 ○穴山 梧司 青木 勇樹
12	14:40 ~ 15:00	水力発電設備異常検知システムについて	独立行政法人水資源機構 独立行政法人水資源機構 中部支社	日吉ダム管理所 事業部 設備課 ○石渡 俊弘 市川 彰浩
15:00 ~ 15:10 休憩				
13	15:10 ~ 15:30	六甲山系グリーンベルト事業地におけるナラ枯れ被害対策について	琵琶湖河川事務所	明見 章史
14	15:30 ~ 15:50	技術力向上を目的とした地方自治体と道路管理者自らによる橋梁点検について	滋賀国道事務所	管理第二課 山本 洋
15	15:50 ~ 16:10	超軟弱地盤における橋台基礎工の施工 ～回転杭(斜杭・直杭)～	兵庫県 但馬県民局 豊岡土木事務所	河川砂防課 栗倉 佑子
16	16:10 ~ 16:30	排水ポンプ(排水ポンプ車)の性能把握のための簡易な点検装置開発について	近畿技術事務所	施工調査・技術活用課 南口 由行
17	16:30 ~ 16:50	阪神高速5号湾岸線住吉浜出口における渋滞対策効果分析	阪神高速道路株式会社 阪神高速技術株式会社	計画部 調査課 技術部 技術課 ○小島 悠紀子

18	9:30 ~ 9:50	インフラメンテナンス国民会議 近畿本部フォーラムの取り組み	企画部	企画課 戊亥 俊介
19	9:50 ~ 10:10	ネットワークカメラによるポンプ運転情報の確認について	公益財団法人兵庫県まちづくり技術センター	武庫川流域下水道管理事務所 中島 雄一
20	10:10 ~ 10:30	国道171号八丁畷交差点改良事業とその効果検証	大阪国道事務所	管理第二課 杉田 智行
10:30 ~ 10:40 休憩				
21	10:40 ~ 11:00	この歩道橋撤去します ～職人たちのリスク軽減策～	滋賀県	道路課 伊藤 藤晃
22	11:00 ~ 11:20	毛馬排水機場ポンプ設備の健全度を評価する項目の整理	淀川河川事務所 兵庫国道事務所	施設管理課 管理第二課 ○栗山 大生
23	11:20 ~ 11:40	工事現場をバックアップする安全管理について	株式会社大林組 大阪本店	安全部 宮本 裕

一般部門（安全・安心）Ⅱ

発表会場2:別館2階 202共用会議室

※1 連名の内、○付は発表予定者

No.	日・時間	論文名	論文作成者 所属	氏名
1	10:00 ~ 10:20	天ヶ瀬ダム貯水池崩壊地の現状について	河川部	河川工事課 唐松 雅司
2	10:20 ~ 10:40	奈良県の総合治水における取組の現状・課題・対応について	奈良県	県土マネジメント部 河川課 井上 貴照
3	10:40 ~ 11:00	排水作業準備計画の作成について	大和川河川事務所	調査課 米田 直起
4	11:00 ~ 11:20	市川における斜め堰と水制工による治水効果を踏まえた河道改修について	兵庫県 姫路土木事務所	河川砂防課 高橋 伸明
5	11:20 ~ 11:40	天然ダム直下における遠隔縦横装置付分解組立型バックホウによる緊急対策工事実施上の課題	紀伊山系砂防事務所	上田 智宗
6	11:40 ~ 12:00	平成29年台風21号による土砂災害への対応と今後の課題について	和歌山県	砂防課 森川 智 土砂災害啓発センター 榎原 伴樹
	12:00 ~ 13:00	昼休み		
7	13:00 ~ 13:20	山岳被災地における画像伝送の一手法について	九頭竜川ダム統合管理事務所	真名川ダム管理支所 杉田 雅幸
8	13:20 ~ 13:40	県道宮津養父線における法面崩壊時の緊急対応について	兵庫県 但馬県民局	但馬水産事務所 漁港課 本間 彰洋
9	13:40 ~ 14:00	三重県紀宝町におけるコミュニティタイムライン策定に向けた取り組みについて	紀南河川国道事務所	調査課 川嶋 智和
10	14:00 ~ 14:20	円山川災害対策支援システムについて	九頭竜川ダム統合管理事務所 兵庫国道事務所	管理課 玉村 正幸 防災情報課 湯浅 武
11	14:20 ~ 14:40	那智災害に学ぶ土砂災害啓発センターを活用した被害軽減への取り組みについて	和歌山県	土砂災害啓発センター 坂口 武弘 崎山 朋紀
12	14:40 ~ 15:00	ダム情報の有効的な提供手法について	河川部 九頭竜川ダム統合管理事務所	西野 拓志 小池 勇
	15:00 ~ 15:10	休憩		
13	15:10 ~ 15:30	基礎的実験による既存道路の地震時段差対策の効果	富山大学都市デザイン学部 前田工繊株式会社	都市・交通デザイン学科 竜田 尚希 開発推進本部 横田 善弘
14	15:30 ~ 15:50	下水道中継ポンプ場における浸水対策について	滋賀県	北部流域下水道事務所 細溝 雅宏 手塚 聡
15	15:50 ~ 16:10	自治会と連携したマイ防災マップ作成の取り組みについて	枚方出張所管内 河川レンジャー 枚方市桜町 自治会	山口 遼太 神野 茂彦
16	16:10 ~ 16:30	流砂水文観測技術を活用した天然ダム監視観測方法の検証	大規模土砂災害対策技術センター	田中 健貴
17	16:30 ~ 16:50	滋賀県降雨強度式の検証について	滋賀県	土木交通部 渡部 博嗣 流域政策局 原田 正彦
18	16:50 ~ 17:10	平成29年台風21号による木津川基盤漏水の調査報告	河川部 奈良国道事務所	河川計画課 有本 浩太郎 管理第二課 嶋田 剛士

19	9:30 ~ 9:50	南海トラフ巨大地震における近畿地方整備局の活動計画について	企画部	防災課 黒田 光永
20	9:50 ~ 10:10	最大クラスの津波に対する防波堤の粘り強い構造について	神戸港湾空港技術調査事務所	仲岡 優
21	10:10 ~ 10:30	近畿地方整備局管内における道路防災診断の取り組み	近畿技術事務所	維持管理技術課 山田 勝輝
	10:30 ~ 10:40	休憩		
22	10:40 ~ 11:00	本庄川水門の計画概要 ～淡路島南部に建設する兵庫県内初の津波対策水門～	兵庫県	県土整備部県土企画局 島岡 明生 総務課
23	11:00 ~ 11:20	仮設型浸水歩行体験装置について	福知山河川国道事務所 高砂市	まちづくり部まちづくり推進室 城谷 吉彦 都市政策課 福田 龍太郎
24	11:20 ~ 11:40	足羽川ダムの洪水吐きに係る水理模型実験について(続報)	淀川河川事務所	工務第一課 小泉 陽彦

一 般 部 門 (活 力)

発表会場3:別館2階 203共用会議室

※1 連名の内、○付は発表予定者

No.	日・時間	論文名	論文作成者 所属	氏 名
1	10:00 ~ 10:20	水辺活用/ノウハウを共有する取り組み -水辺の賑わいの極意を学ぶ-	河川部 河川環境課	大石 太郎
2	10:20 ~ 10:40	官民連携での淀川の賑わい演出について	六甲砂防事務所 調査課	矢野 浩
3	10:40 ~ 11:00			
4	11:00 ~ 11:20	琵琶湖河川事務所における河川植生に関連した課題への 取り組みについて	琵琶湖河川事務所 河川環境課	○古賀 裕英 松井 大生
5	11:20 ~ 11:40	県民まちなみ緑化事業の維持管理について ~阪神地域の校園庭の芝生化~	兵庫県 県土整備部住宅建築局 建築指導課	岩倉 洋行
6	11:40 ~ 12:00	紀北地域の道路整備に伴う交通状況の変化について	和歌山河川国道事務所 海南国道維持出張所	西川 慎一郎
	12:00 ~ 13:00	昼休み		
7	13:00 ~ 13:20	伐採木のバイオマス発電利用について	福井河川国道事務所 工務第一課	桶谷 公治
8	13:20 ~ 13:40	インターネット動画を利用した事業広報活動からの展開	足羽川ダム工事事務所 工務課	益本 創志
9	13:40 ~ 14:00	地域と連携した戦略的な事業周知の取組 ~上野遊水地事業の挑戦~	木津川上流河川事務所 伊賀上野出張所	細川 晋 ○木村 龍之介
10	14:00 ~ 14:20	コンパクトシティへの転換 ~官民で取り組む都市再生・地域創生~	和歌山市 都市建設局 都市計画部 都市計画課 都市計画部 都市再生課	牧野 和之 ○稲垣 智久
11	14:20 ~ 14:40	ナゴヤダルマガエルの保護に向けての留意点	近畿農政局 亀岡中部農地整備事業所 工事課	大串 充範
12	14:40 ~ 15:00	平城宮跡歴史公園の開園の取り組みについて	国営飛鳥歴史公園事務所 工務第二課 工務第二課	○島山 則一 伊藤 秀信
	15:00 ~ 15:10	休憩		
13	15:10 ~ 15:30	京都北部地域における活性化に向けた取り組みについて	舞鶴港湾事務所	富川 達郎
14	15:30 ~ 15:50	みんなで作る橿原の“いいね!” -よりよい景観づくりに向けた取組み-	橿原市 まちづくり部 緑地景観課	森本 泰昭
15	15:50 ~ 16:10	クルーズ船寄港による地域活性化を目指す「みなとオアシス ごぼう」プロジェクトについて	和歌山港湾事務所 企画調整課	岩原 克仁
16	16:10 ~ 16:30	天然記念物イタセンバラの野生復帰を目指して ~平成6年調査開始以来最多となる稚魚数を確認するまで の道のり~	淀川河川事務所 河川環境課	清重 亜美
17	16:30 ~ 16:50	御堂筋での道路空間活用における取組について ~地域の賑わいづくりに繋がる道路空間を目指して~	大阪国道事務所 地域調整課	森本 芳文

18	9:30 ~ 9:50	天ヶ瀬ダムの観光資源化と地域活性化について	淀川ダム統合管理事務所 管理課 防災情報課	○横山 純一 福本 賢
19	9:50 ~ 10:10	訪日外国人旅行者によるレンタカー利用実態調査	企画部 淀川河川事務所 沼川整備課	○森野 由愛 松原 明日香
20	10:10 ~ 10:30	安威川ダム周辺地域の利活用による地域活性化に向けた取 組みについて	大阪府 都市整備部 河川室 河川整備課 安威川ダム建設事務所	○岡本 麻里 小野 一義
	10:30 ~ 10:40	休憩		
21	10:40 ~ 11:00	近畿初 道の駅「奥永源寺溪流の里」を拠点とした自動運転 バスによる公道での実証実験について	奈良国道事務所	中村 隆之
22	11:00 ~ 11:20	生き物と触れあえ市民に愛される堺泉北港生物共生型護岸 での取り組みについて	港湾空港部 港湾事業企画課	渡邊 耕記

※2 No.3の論文については、事情により発表取り止め

No.	日・時間	論文名	論文作成者 所属	氏名
1	10:00 ~ 10:20	国道2号淀川大橋の大規模修繕について(中間報告)	大阪国道事務所	大前 利夫
2	10:20 ~ 10:40	国立京都国際会館展示施設の新築工事における「墨入れコンクリート」の施工管理について	京都宮繕事務所 宮繕部	○ 赤池 亨 若村 正一
3	10:40 ~ 11:00	塩分吸着型エポキシ樹脂コンクリート補修材(ハイブリッドエポキシ樹脂)の性能及び適用事例について	日本国土開発株式会社 土木事業本部技術部 技術開発グループ	○ 千賀 年浩 山内 匡
4	11:00 ~ 11:20	i-Constructionによる施工効率化について	国営明石海峡公園事務所 入谷緑化土木株式会社	○ 土井 貴昭 橋本 直宏
5	11:20 ~ 11:40	アルミドームへのリニューアル(配水池) ～ 狭小地での組み立て施工 ～	向日市	石田 邦彦 ○ 才野 紅葉
6	11:40 ~ 12:00	川上ダム建設事業におけるICT技術を導入した工事について	独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所	○ 河野 将大 市川 滋己
12:00 ~ 13:00 昼休み				
7	13:00 ~ 13:20	長距離シールド工事における直接吸泥排土の課題と対応	近畿農政局 東播用水二期農業水利事業所	坂井 睦規
8	13:20 ~ 13:40	超緻密高強度繊維補強コンクリートによる床版補修工事について	京都府 中丹東土木事務所	常岡 信希
9	13:40 ~ 14:00	建設現場イノベーションプロジェクトin但馬について	豊岡河川国道事務所 道路部	○ 権藤 拓洋 佐々木 隆行
10	14:00 ~ 14:20	堺泉北港航路浚渫工事におけるi-Constructionの取組みについて	大阪港湾・空港整備事務所	平岩 準
11	14:20 ~ 14:40	河川堤防の除草コスト削減を目指した長大な堤防植生試験について(報告)	福知山河川国道事務所	○ 藤井 彩加 本村 洋介
12	14:40 ~ 15:00	河道掘削工事におけるALBの活用について	和歌山河川国道事務所 奈良国道事務所	○ 荻野 恭輔 田中 克己
15:00 ~ 15:10 休憩				
13	15:10 ~ 15:30	築堤工事の基盤改良から発生する吹上り土の活用によるコスト削減方策!	福知山河川国道事務所	宮下 真輝
14	15:30 ~ 15:50	関西国際空港における護岸の高上・補強工事について	関西エアポート株式会社 関西空港技術部 空港島保全グループ	○ 齋藤 祐樹 古城 鉄也
15	15:50 ~ 16:10	ICT浚渫工(河川)の出来形管理基準策定の検討	姫路河川国道事務所	山口 敦久
16	16:10 ~ 16:30	ダム放流設備関連補修工事の水中ROVによる無人化施工	独立行政法人水資源機構 関西・吉野川支社淀川本部	中津川管理室 小林 大輔
17	16:30 ~ 16:50	老朽化した道路照明柱の補強工法について	大阪府 八尾土木事務所 株式会社アーバンパイオニア設計	○ 上野 祐生 加納 寛
18	9:30 ~ 9:50	導坑から地山改良を行い脆弱な盛土直下を掘削したトンネルの事例報告	道路部 河川部	田中 富博 ○ 加藤 翔
19	9:50 ~ 10:10	和歌山地方合同庁舎建築工事における『漏水ゼロの地下躯体構築』の取組	東急建設株式会社 大阪支店	建築部 木村 春喜
20	10:10 ~ 10:30	六甲山系における砂防ソイルセメントの活用について	六甲砂防事務所	調査課 長渡 祐樹
10:30 ~ 10:40 休憩				
21	10:40 ~ 11:00	神戸地方合同庁舎耐震改修工事について ～ 既存建物地下空間からの地盤改良～	ケミカルグラウト株式会社 関西支店	技術営業部 湯川 文哉

第1日目
6月28日(木)

第2日目
6月29日(金)

No.	日・時間	論文名	論文作成者 所属	氏名	
1	10:00 ~ 10:20	災害時における府県との迅速な情報交換について	企画部 情報通信技術課	山内 健史	
2	10:20 ~ 10:40	既設大規模空間への空調設備設置に関する検討について	兵庫県 県土整備部 住宅建築局 設備課	池田 泰	
3	10:40 ~ 11:00	平成25年台風18号を踏まえた防災対策の高度化	淀川河川事務所 大阪国道事務所	木瀬 龍也 ○寺内 夕希	
4	11:00 ~ 11:20	円山川における堤防の維持管理コスト削減に向けた取り組み	企画部 豊岡河川国道事務所	技術管理課 河川管理課	○横山 雄一 名村 圭司
5	11:20 ~ 11:40	足羽川ダム貯水地内樹木管理計画について(中間報告)	足羽川ダム工事事務所 総務部	調査設計課 厚生課	○横山 英樹 吉田 理香子
6	11:40 ~ 12:00	維持管理を考えた電気通信・機械設備におけるCIMの活用について	琵琶湖河川事務所 福井河川国道事務所	管理課 防災課	○原 裕貴 先原 勲
	12:00 ~ 13:00	昼休み			
7	13:00 ~ 13:20	無散水融雪設備のコスト削減について	豊岡河川国道事務所	道路管理課	星田 慎一
8	13:20 ~ 13:40	タブレット端末や航空レーザ測量データを活用した砂防情報管理システムの構築について	紀伊山系砂防事務所	工務課	菅原 寛明 ○山下 大雅
9	13:40 ~ 14:00	河川管理施設の3次元モデリングにおけるLODの検討	福井河川国道事務所	河川管理第一課	原 恒太
10	14:00 ~ 14:20	持続可能な堤防植生の維持管理へ向け ～職員による除草コスト削減の取り組み～	大和川河川事務所 和歌山河川国道事務所	管理課 道路管理第二課	黒田 公平 ○新垣 亜以
11	14:20 ~ 14:40	UAVを活用した河川点検・監視システムについて	兵庫県 養父土木事務所		中村 公彦
12	14:40 ~ 15:00	サクラマスの生息環境に配慮した堰魚道操作の検討について	福井河川国道事務所	河川管理第二課 河川管理第二課	○川合 重光 北垣 潤一
	15:00 ~ 15:10	休憩			
13	15:10 ~ 15:30	木津川ダム総合管理所におけるCIM-I (管理におけるCIM)について ～管理の省力化・効率化・高度化を目指して～	独立行政法人水資源機構 木津川ダム総合管理所	高山ダム管理所 管理課	○相馬 成樹 丹羽 賢一
14	15:30 ~ 15:50	河川管理全般での活用をめざした福井河川国道事務所版CIMガイドライン(案)について	福井河川国道事務所	河川管理第一課	○渡邊 俊夫 山本 一浩
15	15:50 ~ 16:10	UAVと3Dレーザースキャナを組み合わせた道路舗装の維持管理手法の提案	明石工業高等専門学校 株式会社エムアールサポート	都市システム工学科	○鍋島 康之 森 善光
16	16:10 ~ 16:30	ETC2.0プローブ情報に基づく道路勾配を考慮した速度低下要因の分析	一般社団法人システム科学研究所	調査研究部 調査研究部	○金崎 智也 安田 幸司
17	16:30 ~ 16:50	空調運転データを活用した改修設計 ～国立国会図書館関西館の運用を踏まえた検討～	営繕部	整備課	飯塚 淳悟

18	9:30 ~ 9:50	UAVによる道路台帳附図作成の検証	浪速国道事務所 総務部	会計課	○大石 勉 野田 祐
19	9:50 ~ 10:10	CIMを活用した橋梁設計と今後の展望	企画部 株式会社オリエンタルコンサルタンツ	技術管理課 関西支店総合技術部	○池田 広晃 迫田 康平
20	10:10 ~ 10:30	176号名塩道路 兵庫川張り出し橋の橋種選定について(張り出し橋の中間支間に架け替える西宝橋が接続)	兵庫国道事務所	計画課	樽井 美奈美
	10:30 ~ 10:40	休憩			
21	10:40 ~ 11:00	現場解決型「ダム湖等浮遊ごみ回収装置」(水面清掃船)の開発・活用について	NPO法人地域リサイクル推進機構		○町田 輝次 関 拓夢
22	11:00 ~ 11:20	下水汚泥固形燃料化事業について ～下水汚泥が電気生まれ変わります～	京都府	流域下水道事務所	真見 一樹
23	11:20 ~ 11:40	IoT等を用いた業務支援システムと今後の展望について	独立行政法人水資源機構 木津川ダム総合管理所	電気通信課	○藤本 崇史 佐藤 信博

アカウンタビリティ・行政サービス部門

発表会場7:新館3階 A会議室

※1連名の内、○付は発表予定者

No.	日・時間	論文名	論文作成者 所属	氏名
1	10:00 ~ 10:20	物品役務調達における入札公告・説明書の自動生成ツールの取組について	総務部	○河村 桂吾 春名 美由紀
2	10:20 ~ 10:40	淀川左岸線延伸部事業における権利者特定について	浪速国道事務所	中村 佳正 ○大橋 幸一郎
3	10:40 ~ 11:00	原松原線都市計画街路事業に伴う区分地上権の設定と取得について	滋賀県 湖東土木事務所	北川 貴士
4	11:00 ~ 11:20	みかん畑の生産設備の補償について	和歌山河川国道事務所	拜藤 佐千子
5	11:20 ~ 11:40	道路の計画段階におけるコミュニケーションプロセスの実践と今後の展開	姫路河川国道事務所	調査課 向 和哉
6	11:40 ~ 12:00	高齢化社会における用地取得の課題(用地交渉と成年後見制度について)	淀川河川事務所	用地第二課 永田 善紀
	12:00 ~ 13:00	昼休み		
7	13:00 ~ 13:20	相長川水門の愛称決定について ～ゆめ100プロジェクトの実現～	福知山河川国道事務所	河川管理課 ○堤 菜瀬 弓場 茂和
8	13:20 ~ 13:40	「事務所」におけるSNSを用いた災害時に効果的な情報発信について	和歌山県県土整備部道路局 総務部	道路建設課 ○松岡 里奈 村岡 宏
9	13:40 ~ 14:00	由良川緊急治水対策事業の用地取得マネジメントについて	福知山河川国道事務所	用地第一課 松井 駿 ○工藤 智志
10	14:00 ~ 14:20	笹生川ダム見学会におけるアンケート調査結果	福井県 奥越土木事務所	笹生川・浄土寺川ダム統合管 理事務所 久保 光
11	14:20 ~ 14:40	鉄屑の円滑な売払いの検討について ～引き渡し完了までが売払い～	紀南河川国道事務所	管理課 高本 佳行 ○植野 隆大
12	14:40 ~ 15:00	足羽川ダムの上下流合意形成について	足羽川ダム工事事務所	高田 安隆
	15:00 ~ 15:10	休憩		
13	15:10 ~ 15:30	タブレットを利用したテレビ会議の実施について ～働き方改革とICT活用への取り組みについて～	総務部 紀南河川国道事務所	○池田 俊之 吉川 元史
14	15:30 ~ 15:50	集中型OJTについて	豊岡河川国道事務所	調査課 ○長井 大樹 齋藤 信彦
15	15:50 ~ 16:10	樋門等の情報共有に関するとりくみについて	和歌山河川国道事務所 琵琶湖河川事務所	河川管理課 ○安田 有佑 吉野 晃平
16	16:10 ~ 16:30	新たな発見！女子が見る天ヶ瀬ダム再開発事業 ～けんせつ小町補完計画～	琵琶湖河川事務所 河川部	工務課 ○中西 理瑛 白井 義幸
17	16:30 ~ 16:50	国道24号鳥丸通における歩行者自転車通行空間整備手法について	京都国道事務所	管理第二課 明知 顕三 ○石田 翔吾
18	16:50 ~ 17:10	RPAを利用した業務の自動化について	総務部	篠原 成樹

19	9:30 ~ 9:50	桂川緊急治水対策における住民参加による保全活動について	淀川河川事務所	調査課 種生 晃
20	9:50 ~ 10:10	道路の車両通行止め規制にあつたての計画的な広報について	兵庫県 西宮土木事務所	道路第1課 河本 政和
21	10:10 ~ 10:30	木津川 地域住民による「伝統工法 中聖牛」の復活	淀川管内グループ河川レンジャー	○小林 慧人 北野 大輔
	10:30 ~ 10:40			
22	10:40 ~ 11:00	港湾関連団体と協力した、担い手確保のための取り組み「オープンキャンパス阪神港」について	大阪港湾・空港整備事務所	保全課 久野 貴之
23	11:00 ~ 11:20	『下水道を知ってもらう！』地域住民へ向けた取り組みについて	中林建設株式会社	土木部工事課 永山 裕元
24	11:20 ~ 11:40	野洲川落差工からみる河川管理施設の管理瑕疵と安全対策について	琵琶湖河川事務所	占用調整課 木村 優輝

平成30年度近畿地方整備局研究発表会

聴講者受付票

6 月 日 AM ・ PM

区 分	一 般 整備局	※ 該当に○をして下さい。
ご勤務先・ご所属等	自治体 関係機関(機構、高速道路(株)等)	
ご芳名		

本日は聴講いただきましてありがとうございます。

この受付票にお名前等を記入のうえ、必ず受付の係員にお渡しください。

※事前の申し込みは不要です。

※聴講料は無料です。

※名刺をご提出いただいた場合、本標のご提出は省略致します。

平成30年度近畿地方整備局研究発表会

CPDS用 聴講者受付票

6 月 日

区 分	一 般 整備局	※ 該当に○をして下さい。
ご勤務先・ご所属等	自治体 関係機関(機構、高速道路(株)等)	
ご芳名		

※CPDSの受講証明が必要な方はこちらをご利用下さい。

本日は聴講いただきましてありがとうございます。

この受付票にお名前等を記入のうえ、必ずCPDS受付の係員にお渡しください。その際、CPDS技術者証の提示をお願い致します。

※両日とも9時～10時の間で受け付けを行います。

※事前の申し込みは不要です。

※聴講料は無料です。

※名刺を提出頂いた場合、本標のご提出は省略致しますが、CPDS受付にて受け付けのうえ、受講証明引換証の受領をお願い致します。

